

# 後世に引き継ぐ財産と債務のバランスは？

## 普 通 会 計 バ ラ

「後世へ引き継ぐ県の社会資本」と「債務返済の財源」

資産の部	平成 17年度末	平成 16年度末	増減
<b>1. 有形固定資産</b>	22,936	23,321	384
(1) 土木等	11,595	12,034	438
道路	15,933	15,707	225
橋りょう	2,181	2,159	22
河川	4,123	4,065	58
うちダム	694	677	17
砂防	3,218	3,166	51
都市公園	394	388	5
(減価償却累計額)	14,255	13,453	801
(2) 農林水産	1,795	1,841	46
造林	152	152	0
治山	3,203	3,145	57
(減価償却累計額)	1,560	1,455	105
(3) 庁舎・学校などの建物	2,879	2,826	52
高等学校	1,120	1,061	59
福祉施設	159	159	0
警察施設	240	153	87
県営住宅	281	281	0
図書館等教育関連施設	519	504	14
その他	1,871	1,861	9
(減価償却累計額)	1,313	1,194	118
(4) 土地	6,515	6,461	54
(5) その他	150	156	6
自動車, 美術品, 備品等	455	426	29
(減価償却累計額)	305	269	36
<b>2. 投資等</b>	1,902	1,831	70
(1) 投資・出資	573	556	16
(2) 貸付金	514	543	28
(3) 基金(財調・減債以外)	814	731	82
<b>3. 流動資産</b>	780	794	13
(1) 現金・預金	552	564	12
財政調整基金	87	87	0
減債基金	326	326	0
歳計現金	138	150	12
(2) 未収金	94	94	0
うち地方税	71	73	1
(3) 普通財産	138	139	0
(不納引当金)	4	4	0
<b>資産合計</b>	25,618	25,946	328

億円

平成18年3月31日現在

# シ ャ ー ト

## 「後世の負担となる県の債務」

負債の部		平成 17年度末	平成 16年度末	増減
1. 県債		13,959	13,759	200
	農林水産費の財源として	2,220	2,282	61
	土木費の財源として	7,892	7,914	22
	警察費の財源として	104	56	47
	教育費の財源として	647	610	37
	その他	3,094	2,894	200
	うち翌年度償還予定分	957	831	126
2. 退職給与引当金		3,123	3,078	45
	うち警察本部	456	458	2
	うち教育委員会	2,097	2,047	50
3. その他（緊急雇用創出特別対策基金等）		0	0	0
<b>負債合計</b>		<b>17,082</b>	<b>16,837</b>	<b>245</b>

億円

## 「国等による施設整備支援」と「これまでの一般財源の累計」

正味資産の部		平成 17年度末	平成 16年度末	増減
1. 国庫支出金（資産取得の財源）		7,198	7,286	88
	うち期首残高	7,286		
	うち当期増加額	210		
	うち当期戻入額	299		
2. 市町村等支出金（資産取得の財源）		693	717	23
	うち期首残高	717		
	うち当期増加額	22		
	うち当期戻入額	45		
3. 一般財源等（行政コストvs税負担）		643	1,105	461
	うち期首残高	1,105		
	うち当期増減額	461		
<b>正味資産合計</b>		<b>8,535</b>	<b>9,109</b>	<b>573</b>

億円

<b>負債・正味資産合計</b>		<b>25,618</b>	<b>25,946</b>	<b>328</b>
------------------	--	---------------	---------------	------------

億円

計数については原則として表示単位未満を切捨て処理しているので、合計等と一致しない場合があります。マイナスは表示していません。